

その他の事業の今後の展開(今後1～2年間)

1. 事業の位置づけ

- ・デジタル、ネットワーク画像機器の競争力強化のためにキーデバイスの内製化を行う。
- ・アナログの技術、設備等の資産を有効に活用して事業を展開する。

2. 重点市場

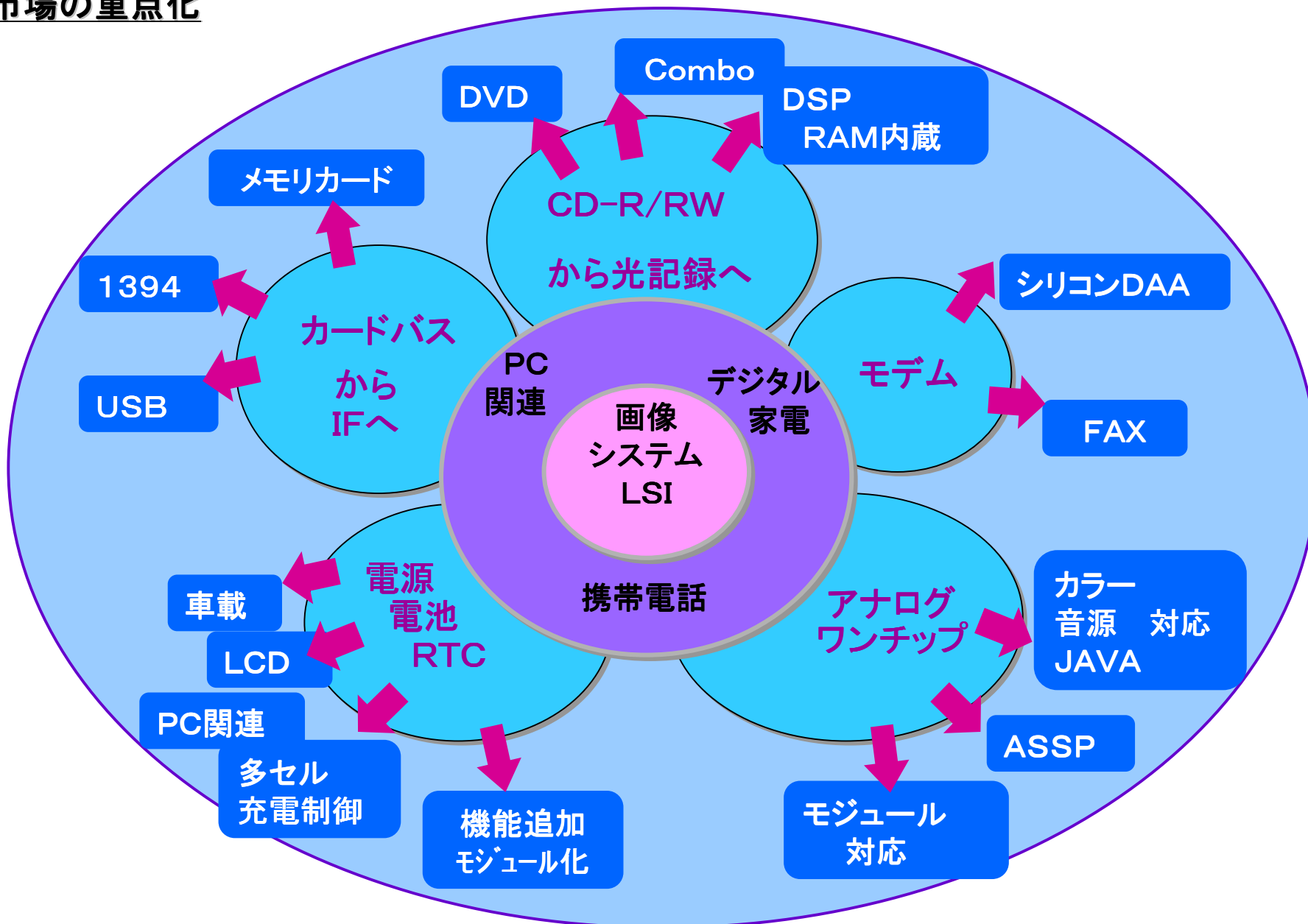
- ・画像機器の差別化に有効な先進デバイス
- ・PC関連、デジタル家電、携帯電話で使われる半導体

3. 事業展開

- ・リコーの強味である設計、開発プロセスに経営資源を集中させる。
- ・戦略的アライアンス／アウトソーシングを積極的におこなう。
- ・カンパニー制のメリットを最大限に生かす。

10. 半導体事業の今後の展開

市場の重点化



1. 事業の位置づけ

- ・ドキュメントのデジタル化、マルチメディア化に対応した紙の役割を果たすメディアとして、イメージコミュニケーション領域での事業展開を行う上で、必要不可欠な事業と位置づけて展開する。
- ・リコーの提供するソリューションを構成するキープロダクトの一つとして推進する。

2. 重点市場

- ・業務系ハイエンドの市場に重点化する。

3. 事業展開

- ・ピックアップの設計開発やメディア材料など、リコーの強味に経営資源を集中させる。
- ・戦略的アライアンス／アウトソーシングを積極的におこなう。
- ・カンパニー制のメリットを最大限に生かす。
- ・今後は成長領域としてDVDに参入し、標準規格をリードし、積極的に展開する。

11. 光ディスク・デジタルカメラ事業の今後の展開

市場の重点化



1. 事業の位置づけ

- ・モバイルワークの普及、マルチメディア化に対応し、どこでも簡単に情報の入出力をおこなえる機器として、イメージコミュニケーション領域での事業展開を行う上で必要不可欠な事業と位置づけて展開する。
（“イメージキャプチャー”）
- ・リコーの提供するソリューションを構成するキープロダクトの一つとして推進する。

2. 重点市場

- ・業務系ハイエンドの市場に重点を置きながら、趣味ローエンドユーザーへの展開もはかる。

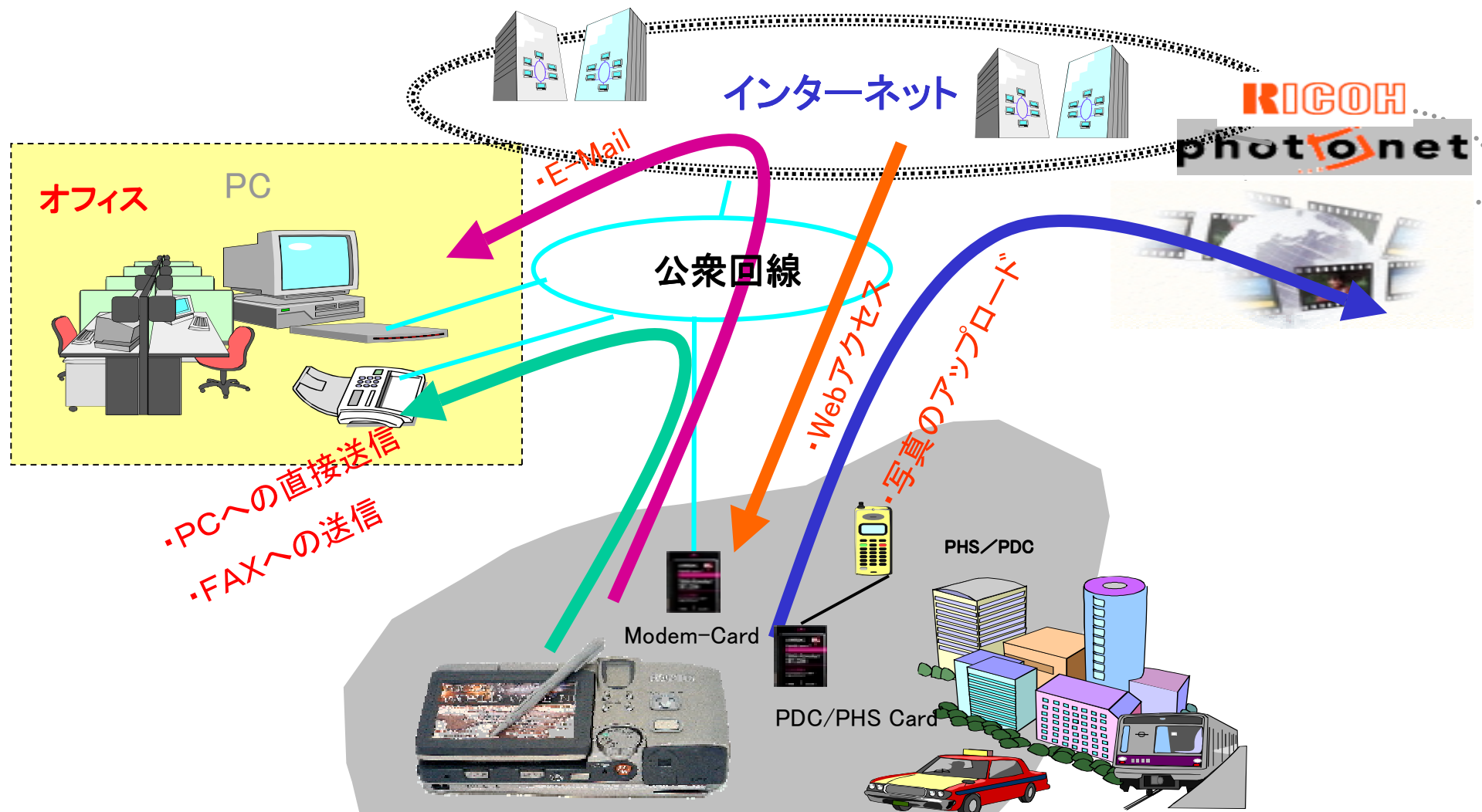
3. 事業展開

- ・リコーの強味に経営資源を集中させる。
- ・戦略的アライアンス／アウトソーシングを積極的におこなう。
- ・カンパニー制のメリットを最大限に生かす。

* イメージキャプチャーとは、
高解像度撮影機能（将来は音声等のマルチメディアも考慮）、加工機能、
インターネット機能を備え、どこでもイメージ情報の入力、加工、伝送ができ、容易に
ワークフローに組み込める携帯情報機器

12. デジタルカメラ事業の今後の展開

ワークフローの中でのイメージキャプチャーの位置づけ



ネット対応携帯イメージ入力機器

- ・場所を選ばないイメージキャプチャ、直ぐに送信
- ・様々な情報を入手